

ひたちなか市教育委員会会議録

平成26年 第1回 ひたちなか市教育委員会1月定例会 会議録					
平成26年1月22日		開会 午後2時00分		閉会 午後2時40分	
○場 所	那珂湊支所				
○出席委員	委員長 小田島 俊夫	委員長職務代理者 石田 厚子	委 員 西野 信弘	委員 沓澤 久美子	教育長 木下 正善
○欠席委員					
○会議に出席した構成員	補 職 名			氏 名	出・欠
	教育次長			大内 康弘	出席
	総務課長			岩崎 龍士	出席
	参事（教育担当）			廣瀬 佳久	出席
	参事兼指導室長			森井 榮治	出席
	施設整備課副技正			武石 康	出席
	学務課長			石崎 聡一郎	出席
	生涯学習課長			阿部 美代子	出席
	スポーツ振興課長			大和田 征宏	出席
	中央公民館長補佐			栗田 慎一	出席
	中央図書館長補佐			安 孝治	出席
○事務局員	総務課係長			佐藤 浩之	出席
	総務課主幹			黒澤 一彦	出席
	総務課主事			小野寺 優	出席
○議 事					
1 議 案	議案第1	ひたちなか市教育行政点検評価委員の委嘱について【公開】			
	報告第1	平成25年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者の決定について【公開】			
	教育委員会事業報告①	平成25年度ひたちなか市教育振興大会について【公開】			
	教育委員会事業報告②	インフルエンザによる学級閉鎖の状況について【公開】			
	教育委員会事業報告③	生涯学習講演会について【公開】			
教育委員会事業報告④	勝田全国マラソン大会について				

平成26年第1回ひたちなか市
教育委員会1月定例会会議録（概要）

開会 14:00

委員長 （あいさつ、開会の宣言）

議案第1号 ひたちなか市教育行政点検評価委員の委嘱について

総務課長 ひたちなか市教育行政点検評価委員規程第3条第2項の規定に基づき、ひたちなか市教育行政点検評価委員を委嘱します。今回教育行政点検評価委員の任期が満了となったため2名の委員を委嘱します。1名は茨城工業高等専門学校教授である蝦名不二夫先生が再任となります。また茨城大学の非常勤講師である鈴木芳夫先生は今回で退任となり、後任として水戸家庭裁判所の参与員である下重久幸氏を委嘱します。下重氏については、教職員の職歴が長く、行政経験も豊富であるため、教育行政の点検評価委員として適任と思われるので、今回提案させていただきます。

【質疑、意見等】

特に無し

* 議案第1号 ひたちなか市教育行政点検評価委員の委嘱については、全員一致で承認されました。

報告第1号 平成25年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者の決定について

総務課長 平成25年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者を決定したので報告します。表彰者の基準は、ひたちなか市教育委員会表彰内規があります。これに基づいて各学校から推薦を受け、表彰者を決定しました。表彰については功労表彰、善行表彰及び特別表彰の3種類となります。功労表彰は

- 1 教育に関する調査研究を行い、教育の振興に貢献しその功績が著しい者。
- 2 教育に関するボランティア活動を行い、教育の振興に貢献しその功績が著しい者。
- 3 スポーツ及び芸術文化の振興に尽力し、その功績が著しい者。

善行表彰は

- 1 特に青少年の模範となる善行をした者。
- 2 学校又は社会教育機関等に次の財産を寄付した者として、個人の場合は25万円以上50万円未満の財産。団体の場合には50万円以上100万円未満の財産となっています。

特別表彰は、本市の教育振興に貢献しその功績が特に著しい者に対して行うこととなります。

推薦の基準については、全ての表彰に一定の基準を設けて、該当する者について表彰することとなります。

平成25年度の教育委員会表彰は、1月20日月曜日に、ひたちなか市表彰審査会を開催しました。それにより平成25年度の教育委員会表彰者を決定したので報告します。

- 1 教育に関する調査研究部門は、小学校の部全体で12件、中学校の部全体で13件の合計25件。
- 2 スポーツ活動部門は小学校の部全体で33件、中学校の部全体で36件の合計69件。
- 3 芸術文化部門は、小学校の部全体で17件、中学校の部全体で15件の合計32件。
- 4 善行活動部門は個人1件、団体4件の合計5件。
- 5 ボランティア活動部門は個人が10件、団体が1件の合計11件
- 6 学校保健部門は個人が4件。

6つの部門の表彰者の合計で146件となります。前年度と比較して、平成24年度は全体で157件あり、今年度は11件の減の146件です。

【質疑、意見等】

委員長

児童生徒に係る表彰の中で、特に大きな功績で対象になった生徒はいますか。

総務課長

審査会の中でも話題になった生徒はいます。スポーツ活動部門、小学校の部で推薦された生徒が、野球の大会である第2回IBAF12Uワールドカップの日本代表として出場し、世界大会で3位になりました。また芸術文化部門、小学生の部で推薦された生徒が、エイズ教育推進ポスターコンクール小学校の部で全国1位となり、全国的なポスターとして採用されました。以上の2名が、特に審査会で話題になりました。

教育長

教育に関する調査研究部門ですが、数年前は11件程の応募でしたが、今年度は35件の応募があり、年々応募数が増えています。また若い教員の応募が多く、全ての応募の中から25件が表彰となりました。

- * 報告第1号 平成25年度ひたちなか市教育振興大会に係る教育委員会表彰者の決定について、報告がありました。

教育委員会事業報告① 平成25年度ひたちなか市教育振興大会について

総務課長 今年度も文化会館において、教育振興大会を開催します。期日は平成26年2月20日木曜日になります。大会日程は午後1時50分から16時30分までの日程となります。内容は式典やアトラクション、教育研究論文の発表や活教育研究所における取組みを紹介します。その後教育長のメッセージを行い、最後に特色ある学校活動の取組みとして東石川小学校の「かがやけ！チーム東石川」と前渡小学校の「前小じ・ま・ん」を実施します。東石川小学校については陣太鼓を、前渡小学校は吹奏楽部の演奏になります。

【質疑、意見等】

特に無し

- * 教育委員会事業報告 ①平成25年度ひたちなか市教育振興大会について報告がありました。

教育委員会事業報告② インフルエンザによる学級閉鎖の状況について

学務課長 インフルエンザによる学級閉鎖の状況について説明します。現在学級閉鎖となっているのが、佐野小学校で3学級、那珂湊第三小学校で1学級となっています。欠席者の状況ですが、インフルエンザの診断で欠席しているのが、幼稚園で1名、小学校で92名、中学校で37名です。昨年5月に那珂湊第一小学校で感染性胃腸炎の流行があり、それ以降感染が起こる度に学校や幼稚園に注意喚起文を送付し、手洗い・うがいの励行を徹底するよう通知をしています。また、調理員の勤務体制については、家族等の濃厚接触者や職場以外に長時間過ごす場所で、ノロウィルスの陽性反応者が出た場合は、即座に勤務を自粛し、詳細なノロウィルス検査を受けて陰性と判断されるまでは、出勤を自粛させています。今回浜松のノロウィルスによる食中毒の集団発生を受けて、市では改めて予防啓発の文書を送ると共に、茨城県学校給食会に、食材の生産工場等の業者に対して啓発をしているか確認したところ、予防に努めるよう文書を発送したことを確認しました。

【質疑、意見等】

石田委員 浜松市の場合は、パンが一箇所から納入されていたため被害が拡大したと聞きましたが、ひたちなか市は、パンをどのように納入されていますか。

学務課長 勝田地区の学校も、那珂湊地区の給食センター方式も、それぞれ1社から

納入しています。

石田委員 勝田地区も那珂湊地区も同じ業者から納入しているのですか。

学務課長 はい、そうです。

石田委員 業者で感染者が出ると、感染が広がる恐れがあるということですか。

学務課長 業者でノロウィルスの感染者がいた場合、広がる可能性はあります。

石田委員 身近な人がノロウィルスになった場合、陰性が出るまで検査を受けるということでしたが、検査代が非常に高いと聞きました。ノロウィルスに罹った人は、全て自費で検査を受けることになりますか。

学務課長 家族に陽性反応者がいた場合等、1回目の検査については自費で検査を受けます。その検査で陽性と出た場合、1回目より精密な検査が必要となるので、2回目の検査については学務課で費用を負担しています。

西野委員 学級閉鎖や、それを解除する基準はどうなっていますか。

学務課長 茨城県で示されている基準を用いています。欠席者数がクラスの20%を超えた場合、学校医と相談のうえ学級閉鎖を判断します。学級閉鎖の解除は、基本的に3日間という判断に基づいて解除をしますが、保護者と連絡を行い子供の健康状態を把握した上で期間延長もあります。

西野委員 3日過ぎて学級閉鎖を解除しても、欠席者数が20%以上の場合はまた学級閉鎖になるということですか。

学務課長 そうなりますが、解除をする前に家庭と連絡を取り合いながら、子供の体調を見極めて期間の延長を判断しています。

* 教育委員会事業報告 ②インフルエンザによる学級閉鎖の状況について報告がありました。

教育委員会事業報告③ 生涯学習講演会について

生涯学習課長 今年の生涯学習講演会を、3月8日土曜日に文化会館の大ホールで開催します。「戦場からのメッセージ～ファインダー越しに見た命の現場～」をテーマに、戦場カメラマンの渡部陽一氏をお招きします。定員は1,300名で、託児所や聴覚障害者のための手話通訳も手配しました。市のホームページには1月22日水曜日にアップをし、1月25日号の市報の最終面に情報が載ります。募集期間は1月24日金曜日から2月19日水曜日までの期間になり、抽選結果は2月26日水曜日までに通知いたします。

1月12日の成人の集いについてですが、当市は無事に終わりました。何人か立ち入りを禁止した壇上に上りクラッカーをならす行為がありましたが、係員が会場外に連れ出しました。

先ほどノロウィルスの話がでましたが、学童保育でもノロウィルスが心配されるので、指導員の12月定例会で保健所の方を招いて、感染症に対して

の研修を行いました。一番怖いのは汚物の処理の仕方であり、使用したらそのまま捨てられる使い捨てのエプロンがあるといいとの話があったため、先週全ての学童クラブに、1クラスに10枚を配布しました。

【質疑、意見等】

特になし

- * 教育委員会事業報告③ 生涯学習講演会について報告がありました。

教育委員会事業報告④ 勝田全国マラソン大会について

スポーツ振興課長 今大会の申し込み者が23,918人で、前回の61回大会を2,000人以上を上回り過去最大の大会となります。40キロの周回コースで運営していますので、開催中は交通規制をしています。全体的な規制は10時から14時30分になりますが、部分的に解除する場所もあります。解除の時間前であっても、トップランナー通過後1時間が過ぎたら、状況を見て車を通行させることがあると周知していますが、実際は非常に多数のランナーが通過するため通すのが非常に難しいのが現状です。

今回交通規制の地区は東海村とひたちなか市に配布していましたが、今回は水戸市、那珂市、日立市と範囲を広げて配布しました。

- * 教育委員会事業報告④ 勝田全国マラソン大会について報告がありました。

委員長 (あいさつ、閉会の宣言)

閉会 14:45